

野菜の需給・価格動向レポート(平成20年10月9日版)

参考資料

1 主要野菜の生産出荷状況

| 種類          | 9月の価格動向               |  |        |     | 10月の見通し                             |   |   |   |   |
|-------------|-----------------------|--|--------|-----|-------------------------------------|---|---|---|---|
|             | (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格 | 指定野菜の関東・近畿ブロック平均販売価額(上段:関東、下段:近畿)(速報値) |        |     | 主産地の概況                              | 卸の見通し(上段:関東、東京青果(株)、下段:近畿:大果大阪青果(株))                          |   |   |   |
|             |                       | 上旬                                     | 中旬     | 下旬  |                                     |   |   |   |   |
| 葉<br>茎<br>菜 | キャベツ                  | 74.19                                  | 56     | 70  | 66                                  | ・入荷見込量:15,180t(100)<br>・主産地:群馬(50)、千葉(16)、茨城(11)              | 関東の産地では出荷は終盤を迎える。9月から10月は気温がやや高く、降水量は平年並みと予想されているので、順調な生育が見込まれる。出荷量は前年並みの見込み。                   | 9月上旬に緊急需給調整を実施して一時価格は持ち直した。それでも基本的に豊作で価格は平年を下回り、入荷は前年並みの見込み。                        |   |
|             |                       | 93.59                                  | 59     | 76  | 65                                  | ・入荷見込量:4,000t(106)<br>・主産地:長野(38)、群馬(34)、茨城(16)               |   | 出回り順調で入荷も多い見込み。価格は前月に比べやや上向きも前年より安値を予想。   |   |
|             | ねぎ                    | 273.33                                 | 268    | 252 | 241                                 | ・入荷見込量:5,760t(100)<br>・主産地:青森(27)、北海道(14)、秋田(11)、茨城(8)        | 関東の産地では8月下旬からの大雨による生育への影響があり、今後、曇天が長く続くこと、収量・品質への影響が懸念される。作付けは増加しているが、出荷量は減少する見込み。              | 9月以降の天候の安定で各産地とも順調で入荷は前年を上回り、価格はほぼ平年並みの見込み。   |   |
|             |                       | 512.77                                 | 348    | 342 | 310                                 | ・入荷見込量:230t(98)<br>・主産地:香川(32)、大阪(23)、徳島(14)                  |   | —   |   |
|             | はくさい                  | 82.17                                  | 70     | 77  | 74                                  | ・入荷見込量:12,870t(99)<br>・主産地:長野(66)、茨城(20)、北海道(8)               | 関東の産地では9月の中旬から低温が続く生育が遅れ気味。9月下旬から天候が安定し出荷量が増加し平年並みの見込み。   | 今年は9月までの品質の乱れと西日本の高値の影響で9月にやや高値となったが、10月には作柄回復となる。全国的な作付けの減少から入荷は減少し、価格はほぼ平年並みの見込み。 |   |
|             |                       | 98.58                                  | 73     | 78  | 72                                  | ・入荷見込量:5,400t(101)<br>・主産地:長野(85)、茨城(9)                       |   | 生育が順調で前年をやや上回る。価格は平年を下回る見込み。  |   |
|             | ほうれんそう                | 583.95                                 | 753    | 747 | 488                                 | ・入荷見込量:1,710t(100)<br>・主産地:群馬(30)、茨城(16)、岩手(13)、栃木(12)、千葉(11) | 関東の産地では平坦地はハウスものの最盛期。10月は好天が予想されることから、回復が見込まれる。出荷量は前年をやや上回る見込み。                                 | 生育が順調で前年をやや上回る。価格は平年を下回る見込み。  |   |
|             |                       | 670.86                                 | 748    | 874 | 569                                 | ・入荷見込量:490t(100)<br>・主産地:岐阜(54)、奈良(11)、北海道(10)                |   | 一部産地で面積減少みられるが生育は概ね順調、前年を上回る出回りを見込む。近在物も出回り価格は下押しを予想。                               |   |
|             | レタス                   | 166.60                                 | 215    | 238 | 162                                 | ・入荷見込量:8,730t(100)<br>・主産地:茨城(65)、長野(21)、栃木(6)                | 関東の産地では品質・肥大状況も順調であり、平年並みの作柄であり、9月中旬より出荷開始となる。一部地域では集中豪雨の影響で8月下旬の定植がやや遅れている。                    | 今年は、長野産が平年並みかやや後半にずれ込むことが予想される。入荷は前年をやや上回り、価格は平年を若干下回る見込み。                          |   |
|             |                       | 160.60                                 | 227    | 253 | 165                                 | ・入荷見込量:1,950t(110)<br>・主産地:茨城(37)、長野(35)、兵庫(24)               |   | 茨城産が雨等の影響から大幅な増加は見込めないものの、長野・兵庫産の出回りが順調となり平年並みの入荷となる見込み。価格は前年をやや下回る予想。              |   |
| たまねぎ        | 76.15                 | 78                                     | 80     | 77  | ・入荷見込量:12,140t(100)<br>・主産地:北海道(96) | 北海道の生育は良好で収穫作業は終盤に入った。やや前進がみられるが出荷は平年並みの見込み。                  | 今年は北海道は平年作である。小ぶりで箱数が伸び悩む可能性がある。入荷は前年を下回り、価格は平年よりも高い見込み。  |   |   |
|             |                       | 75                                     | 76     | 80  | 80                                  | ・入荷見込量:3,700t(95)<br>・主産地:北海道(64)、兵庫(29)                      |   | 冷蔵物の兵庫産は作柄も良く順調な出回り見込むも、北海道産が出遅れて少ない見込み。価格は後半上向きも平年並を下回る予想。                         |   |
| 果<br>菜      | きゅうり                  | 210.69                                 | 253    | 199 | 208                                 | ・入荷見込量:6,310t(101)<br>・主産地:埼玉(32)、群馬(21)、茨城(14)、福島(9)         | 関東の産地では8月下旬に曇雨天が多かったことから軟弱傾向だが、9月~10月は好天が予想されることから、回復が見込まれる。出荷量は前年並みの見込み。                       | 今年は平年作で入荷はやや増加、価格は平年をやや下回る見込み。  |   |
|             |                       | 221.71                                 | 287    | 226 | 225                                 | ・入荷見込量:1,550t(104)<br>・主産地:宮崎(26)、福島(24)、北海道(10)              |   | 天候不順等で夏秋物の切り上がり早まるも抑制物は順調な出回り。入荷は減少傾向となり小幅高も前年の高値には及ばず平年並みとなる見込み。                   |   |
|             | トマト                   | 218.58                                 | 324    | 246 | 260                                 | ・入荷見込量:5,930t(102)<br>・主産地:千葉(25)、茨城(19)、青森(12)、福島(10)        | 関東の産地では8月の高温・集中豪雨の影響で中段の着果不良や裂果の発生がみられる。出荷量は10月上旬からやや減の見込み。全体としては概ね順調な作柄である。                    | 今年は千葉や愛知、静岡が早いと予想され前年を上回る見込み。価格は平年よりもやや高い見込み。                                       |   |
|             |                       | 271.33                                 | 359    | 301 | 288                                 | ・入荷見込量:1,400t(109)<br>・主産地:岐阜(22)、北海道(19)、熊本(12)              |   | 降雨の影響や気温の低下に伴い出回り抑えられ、入荷は減少傾向となるも前年より多い見込み。価格は前年の高値には及ばず安値予想。                       |   |
|             | なす                    | 209.55                                 | 234    | 201 | 223                                 | ・入荷見込量:3,750t(100)<br>・主産地:高知(26)、栃木(24)、茨城(14)、群馬(13)        | 関東の産地では8月下旬以降、多雨と日照不足で発生した花落ちや褐色腐敗病の発生はほぼ終息。遅れていた(側枝の発生が弱い)生育は現在回復傾向で今後は出荷量の増加が見込まれる。害虫の発生は少なめ。 | 今年は前年をやや下回り、価格は平年よりも若干高い見込み。  |   |
|             |                       | 221.72                                 | 290    | 218 | 185                                 | ・入荷見込量:830t(105)<br>・主産地:徳島(24)、奈良(19)、京都(12)                 |   | 夏秋物が減少傾向となるも、ハウス物は順調に出回る見込み。入荷は少なかった前年より多い見込みで価格は平年並みを予想。                           |   |
|             | ピーマン                  | 263.58                                 | 246    | 201 | 184                                 | ・入荷見込量:2,050t(100)<br>・主産地:茨城(66)、岩手(16)                      | 関東の産地では順調な生育をしており、品質・肥大ともに良好である。出荷量及び作柄は平年並と予測される。  | 今年は主産地の茨城は遅れて少なく、入荷は前年を下回るが、価格は平年よりやや安い見込み。   |   |
|             |                       | 282.16                                 | 288    | 255 | 185                                 | ・入荷見込量:400t(109)<br>・主産地:兵庫(16)、高知(13)、北海道(11)、宮崎(10)         |   | 品質の良い抑制物が順調に出回り価格は前月の安値から上向き見通しも、前年の高値には及ばず安値を予想。                                   |   |
|             | 根<br>菜                | だいこん                                   | 99.58  | 75  | 107                                 | 106   | ・入荷見込量:12,660t(98)<br>・主産地:北海道(31)、青森(30)、岩手(8)   | 北海道は収穫が終盤に入り、干ばつの影響が一部に見られたが出荷は平年並みの見込み。  | 9月に入荷が減少して価格高となったが10月には、作柄が回復し順調となり、さんまが豊漁で引き合いは強い。全国的な作付けの減少から入荷は前年をやや下回り、価格は平年よりも高い見込み。 |
|             |                       |  | 111.54 | 72  | 114                                 | 108   | ・入荷見込量:4,700t(100)<br>・主産地:石川(28)、北海道(26)、新潟(10)  |   | 北海道産がやや出遅れる見通しも、北陸産の生育は概ね順調。平年を上回る入荷を見込み価格安を予想。   |
| にんじん        |                       | 129.56                                 | 121    | 118 | 112                                 | ・入荷見込量:8,190t(98)<br>・主産地:北海道(94)                             | 北海道は収穫が終盤に入り、一部に小玉傾向が見られるが出荷は平年並の見込み。   | 北海道では全道的に平年作で入荷は前年をやや下回り、価格はほぼ前年並みで平年より若干高い見込み。                                     |   |
|             |                       | 129.59                                 | 119    | 117 | 108                                 | ・入荷見込量:2,500t(90)<br>・主産地:北海道(94)                             |   | 順調な出回りもやや小ぶりから入荷は前年を下回る見込みで価格高を見込む。   |   |

| 種類    | 9月の価格動向               |                             |     |     |   | 10月の見通し  |   |
|-------|-----------------------|-----------------------------|-----|-----|---|--|---|
|       | (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格 | 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額(速報値) |     |     | 主産地の概況  |  | 卸の見通し<br>(上段: 関東、東京青果(株)、下段: 近畿: 大果大阪青果(株)) |
|       |                       | 上旬                          | 中旬  | 下旬  |   |  |   |
| いも    | 242.66                | 369                         | 307 | 292 | ・入荷見込量: 1,480t(103)<br>・主産地: 埼玉(37)、千葉(29)、栃木(11) | 今年国内産が順調で入荷は前年を上回り、価格は前年より高い見込み。<br>面積増加と作柄も回復に向かい入荷は前年を上回る見込みから価格安を予想。                                    |   |
|       | 220.11                | 348                         | 275 | 268 | ・入荷見込量: 290t(122)<br>・主産地: 愛媛(50)、宮崎(16)、千葉(6)    |  |   |
| ばれいしょ | 96.77                 | 100                         | 99  | 93  | ・入荷見込量: 8,540t(100)<br>・主産地: 北海道(98)              | 北海道は前年作とされるが小ぶりで出荷量はやや下方修正の見込み。入荷は前年を下回り、価格は前年より高い見込み。<br>干ばつ等の影響による小玉傾向も出回りは順調。気温の低下に伴い需要が高まり、価格は前年並みを予想。 |   |
|       |                       | 101                         | 94  | 83  | ・入荷見込量: 3,500t(91)<br>・主産地: 北海道(94)               |  |   |

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。  
2) 旬別平均販売価額の青は保証基準額を上回るもの。赤色は下回るもの(消費税は除く)。  
1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。  
2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。  
3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。  
1) 「卸の見通し」の内容は、東京青果株式会社「野菜展望」、大果大阪青果株式会社「虹」をもとに機構が編集したものである。  
2) その後の気象条件の変化等により変動があり得る。

## 2 野菜の需要動向

家計調査による1人当たりの生鮮野菜の購入量は1~3月は前年をやや上回って推移し(前年対比1月: 104.6%、2月: 104.5%、3月: 101.9%)、4~6月は前年をやや下回って(同4月: 99.8%、5月: 96.2%、6月: 98.9%)推移し、7月(99.1%)も前年を下回ったが、8月(100%)は、前年とほぼ同じとなった。購入金額も、前年、前年ともに下回った。  
はくさい、キャベツの9月中旬の小売価格(東京都区部)速報値をみると、はくさい、キャベツともに前年を下回っている。

### 1 生鮮野菜の購入量及び金額

| 年   | (1人当たりの購入量、金額) |       |        |       |        |       |
|-----|----------------|-------|--------|-------|--------|-------|
|     | 平成20年          |       | 平成19年  |       | 過去5年平均 |       |
| 月   | 購入量(g)         | 金額(円) | 購入量(g) | 金額(円) | 購入量(g) | 金額(円) |
| 1月  | 4,341          | 1,479 | 4,148  | 1,487 | 3,981  | 1,524 |
| 2月  | 4,471          | 1,582 | 4,279  | 1,447 | 4,218  | 1,566 |
| 3月  | 4,763          | 1,735 | 4,674  | 1,629 | 4,527  | 1,692 |
| 4月  | 4,896          | 1,786 | 4,904  | 1,794 | 4,667  | 1,775 |
| 5月  | 5,020          | 1,876 | 5,215  | 1,891 | 5,068  | 1,876 |
| 6月  | 5,026          | 1,878 | 5,081  | 1,827 | 4,955  | 1,860 |
| 7月  | 4,446          | 1,673 | 4,488  | 1,700 | 4,391  | 1,681 |
| 8月  | 4,392          | 1,619 | 4,392  | 1,766 | 4,257  | 1,648 |
| 9月  |                |       | 4,784  | 1,807 | 4,678  | 1,730 |
| 10月 |                |       | 5,151  | 1,870 | 5,110  | 1,814 |
| 11月 |                |       | 4,969  | 1,632 | 4,832  | 1,576 |
| 12月 |                |       | 5,194  | 1,869 | 5,041  | 1,779 |

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

### 2 主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移

| 月   | はくさい  |        | キャベツ  |        |
|-----|-------|--------|-------|--------|
|     | 平成20年 | 過去5年平均 | 平成20年 | 過去5年平均 |
| 1月  | 120   | 143    | 148   | 216    |
| 2月  | 123   | 151    | 163   | 203    |
| 3月  | 212   | 190    | 213   | 192    |
| 4月  | 256   | 242    | 208   | 237    |
| 5月  | 211   | 205    | 164   | 188    |
| 6月  | 199   | 198    | 154   | 157    |
| 7月  | 216   | 194    | 151   | 159    |
| 8月  | 206   | 229    | 134   | 160    |
| 9月  | 196   | 243    | 122   | 160    |
| 10月 |       | 196    |       | 167    |
| 11月 |       | 154    |       | 165    |
| 12月 |       | 116    |       | 158    |

注1: 過去5カ年は平成15~19年  
注2: 9月の値は、9月中旬の速報値

資料: 総務省統計局「小売物価統計調査報告」

## 3 野菜の輸入動向

中国からの野菜の輸入量は、平成17年には165万トンであったものが、19年には、87%の141万トンとなっており、さらに本年1~8月では対前年同期比79%となっている。  
8月についても植物防疫検査統計によると、たまねぎ、にんじん、ねぎについては対前年同期比44~70%となっている。

### 野菜等の輸入数量の推移について

| 区分      | 平成17年     | 平成18年     | 平成19年     | 平成19年 |         |           | 平成20年 |      |       |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------|---------|-----------|-------|------|-------|
|         |           |           |           | 前年比   | 1~8月    | 1~8月      | 前年同期比 | 1~8月 | 前年同期比 |
| 生鮮野菜    | 1,114,274 | 956,167   | 719,468   | 75    | 513,786 | 420,612   | 82    |      |       |
| 加工野菜    | 1,772,280 | 1,805,327 | 1,765,162 | 98    | #####   | 1,127,608 | 93    |      |       |
| 野菜輸入量合計 | 2,911,337 | 2,787,104 | 2,506,416 | 90    | #####   | 1,548,220 | 90    |      |       |
| 中国産野菜合計 | 1,653,854 | 1,621,939 | 1,413,584 | 87    | 968,802 | 766,252   | 79    |      |       |
| 中国産シェア  | 57        | 58        | 56        |       | 56      | 49        |       |      |       |

資料: 財務省「貿易統計」

### 主な野菜の輸入動向

| 品目   | 輸入先 | (単位: トン、%) |           |         |
|------|-----|------------|-----------|---------|
|      |     | (A)2007.8  | (B)2008.8 | (B)/(A) |
| たまねぎ | 合計  | 17,404     | 12,310    | 70.7    |
|      | 中国  | 17,167     | 12,155    | 70.8    |
|      | 米国  | 237        | 71        | 30.0    |
| にんじん | 合計  | 3,256      | 1,560     | 47.9    |
|      | 中国  | 3,217      | 1,434     | 44.6    |
|      | NZ  |            | 260       | -       |
| ねぎ   | 合計  | 4,072      | 2,374     | 58.3    |
|      | 中国  | 4,071      | 2,372     | 58.3    |

資料: 農林水産省「植物防疫検査統計」(2008.8は9月第5週現在で速報値である。)

## 4 トピック

### 平成20年度省エネ技術・施肥低減体系緊急導入促進事業について

燃油消費量を2割以上低減した農業者グループや、施肥低減を積極的に進めようとする農業者グループに対し、省エネ栽培に効果のある被覆資材の購入や、緊急的な土壌診断による施肥設計の見直しの取組を支援します。

独立行政法人農畜産業振興機構では燃油・肥料の高騰による影響を受け経営を圧迫されている野菜農家を支援することを通じ、野菜の安定供給に資するため平成20年度に右欄の助成事業を緊急に実施することとなり、9月30日(火)から助成金の申請の受付を開始しています。

詳細は以下のホームページをご確認ください。  
(<http://alic.lin.go.jp/koubo/vege/h20kinkyu-koubo.htm>)

#### ○省エネ技術・施肥低減体系緊急導入促進事業の概要

##### 1 省エネ技術緊急導入促進事業(省エネ効果がある施設園芸用フィルムへの支援)

平成20年度限りの燃油高騰緊急対策として、省エネ効果がある下記の被覆資材の購入費の一部を支援します。  
詳しくは、農林水産省及び当機構ホームページでご案内します。  
農林水産省ホームページ ([http://www.maff.go.jp/seisan/kankyo/kinkyu\\_taisaku/index.html](http://www.maff.go.jp/seisan/kankyo/kinkyu_taisaku/index.html))

- 補助対象となる資材
- ①長期展張被覆フィルム(外張り)
  - (耐用年数が5年以上でガラスと同等の光透過性を有するフィルム)
  - ②中空二重構造被覆フィルム(内張り)
  - (複層構造で中間の空気層により断熱効果を有するフィルム)
  - ③断熱・遮光性被覆フィルム(内張り)
  - (断熱効果及び遮光性を有するフィルム)
  - ④吸水・透湿性被覆フィルム(内張り)
  - (吸水・透湿性及び断熱効果を有するフィルム)



(例) 長期展張フィルム (例) 中空二重構造被覆フィルム

**事業実施主体**  
農事組合法人、農業生産法人、特定農業団体、その他農業者の組織する団体

**補助率** 上記被覆資材の購入費用の1/2以内  
(1事業実施主体当たり上限1,000万円)

**応募条件** 燃油消費量を2割以上低減した3戸以上の農業者グループ  
**申請手続き・スケジュール**  
農林水産省及び機構ホームページに順次掲載いたします。ご参照下さい。

(注) この内容については、今後変更があり得ることを予めご了承下さい。

##### 2 施肥低減体系緊急導入促進事業(土壌診断に基づく施肥設計の見直しに対する支援について)

肥料高騰対策の一環として、地域として効率的な施肥体系への転換に取り組むため、土壌診断に基づく施肥設計の見直しを行うモデル地区に対して、土壌診断経費等を定額で補助する事業を創設いたしました。  
詳しくは、今後、農林水産省及び当機構のホームページでご案内いたします。  
農林水産省ホームページ ([http://www.maff.go.jp/seisan/kankyo/kinkyu\\_taisaku/index.html](http://www.maff.go.jp/seisan/kankyo/kinkyu_taisaku/index.html))

- 補助対象となる経費
- ① 簡易土壌診断装置及び分析試薬の購入経費、土壌診断の委託経費、土壌診断ソフトの導入費等
  - ② 効率的施肥体系転換方針の検討経費等
  - ③ 外部専門家による施肥指導経費、土壌診断担当者や施肥指導者の研修経費等



**事業実施主体**  
農業協同組合連合会、農業協同組合、農事組合法人、農業生産法人、特定農業団体、その他農業者の組織する団体

**補助率** 定額。(1事業実施主体当たり上限200万円)

**申請手続き・スケジュール**  
農林水産省及び機構ホームページに順次掲載いたします。ご参照下さい。

(注) この内容については、今後変更があり得ることを予めご了承下さい。

- 【問い合わせ先】**
- 事業全般について
  - 1の事業: 農林水産省 生産局 農業環境対策課 (03-3502-5956)
  - 2の事業: 農林水産省 生産局 農業生産支援課 (03-6744-2111)
  - 施設野菜等の申請手続き等について
  - (独) 農畜産業振興機構 野菜需給部 (03-3583-9483)